

第8章 白浜地区（旧白浜町）

1. 位置

房総半島最南端のまち



白浜地区の全景



2. 地形

東西に伸びる全長10 Kmの海岸線とその後方に100メートル級の小高い山々連なる。この山頂からは太平洋が一望できる。

ありのままの自然は生物の宝庫であり県自然環境保全地域になっている。



3 . 山 岳

1) 城山^{じょうやま}



城山の全景

概要

ア) 所在

野島崎灯台の北約 1 キロメートル JR のバス停「白浜駅」のある青木地域に所在

イ) 標高

1 4 4 m

ウ) 歴史

この地方では「ジョウヤマ」と呼ばれているが 15 世紀半ば安房里見氏 10 代の祖である「里見義実」が最初の拠点とした「白浜城」の跡が今も残っている。

エ) 自然

城山は、この地区の中心部である青木の背後に聳え、南方海側は急斜面をなし、北方は緩傾斜をなしている。山の上の平地が本丸跡と考えられている。山頂は、常緑のシイ、カシ等の樹木に覆われている。東となりには、「浅間神社」の銘のある石祠があり、富士山信仰の「富士講」がしのばれるとともに、眼下にはこの地区のシンボルである「野島崎の灯台」と雄大な太平洋の輝きが広がる。

城山で見られる主な植物

樹木は、全体的にマテバシイ多いが、他に南方系の植物もあり、ヤマモモ、バリバリノキ、バクチノキ、ホルトノキ、タイミンタチバナ、マルバチシャノキ、オニシバリ、エノキなどが生育している。

草花としては、岩や木の幹にフウトウカズラが巻きついているほか、草花は、キンラン、イチヤクソウが春から初夏に花を咲かせ、夏にはナツトウダイが黄色い花をつける。



マテバシイ



オニシバリ



フウトウカズラ

オ) 交通

JR 館山駅からバスで、あるいは、JR 千倉駅からバスで JR 白浜駅バス停へ、そこから「弘法大師の芋井戸」の標識に従って、徒歩 10 分ほどで青木観音堂（登山道入口）に着く。

ハイキングコース

ア) 距離及び標準時間

青木観音堂（登山道入口）の脇に白浜城跡案内板がある。かなり急な切り開かれたジグザグな坂道を登ると岩が両脇に切り立つ虎口こぐちと思われるところに着く、そこから少し登った左側が山頂であるが、更に先に行き左に登ったところに太平洋を望める眺望の優れた場所がある。青木観音堂から山頂までおよそ40分で往復できる。

イ) 文化財

青木観音堂（ひんずるそんじゃ寶頭盧尊者坐像）

永禄3年（1563年）5代里見義豊みなもとのみんぶだいふの関係者と言われる源民部大輔が造立した寶頭盧尊者坐像が祀られている。



木造寶頭盧尊者坐像

弘法大師の芋井戸

弘法大師の芋井戸は、白浜町青木に伝わる伝記により、史跡として指定したものである。

今を去る一千年あまり昔のこと、一老婆がこの地にて芋を洗っているところに旅の僧が現れ、小芋一つを施されんと願うと、老婆いわく、「この芋は、石のごとき芋で、煮ても食べられません」と。この老婆家に帰り煮た芋を食べようとしたが、石のように硬く、歯もたたなかつたため、路傍に捨てた。ところが、捨てられた芋の下から泉水が滾々と湧き出で、芋は芽を吹き、青々と茂っていた。その後、この僧を訪ねると、弘法大師が諸国行脚の道すがらのことであつたという。このことから「弘法大師の芋井戸」と言われ、湧き出ずる水は冷涼、芋の葉は四季枯れることなく、靈泉の如し。

町の人々は、この水を愛し、この芋の葉の青きが如く、くらしが繁栄するよう願っている。この地区名を青芋木とも伝え言われている。



弘法大師の芋井戸

ウ) 建造物

浅間祠跡

城山山頂には崩れた石の祠がある。また、その東には浅間祠跡に富士講の盛時の名残である浅間神社銘の台石がある。

付近の見どころ

ア) 自然

太平洋の雄大さと黒潮が運ぶ温暖な気候（無霜地帯）による花卉の露地栽培が訪れる人の目を楽しませる。

【四つの自然は当地のシンボル】

花：ハマユウ

魚：イシダイ

鳥：ウミウ

木：ヤブツバキ



野島崎とハマユウ

イ) 歴史

源頼朝ゆかりの地

治承4年(1180年)源頼朝が安房に滞在中、下立松原神社に参拝し、三条小鍛冶宗近の太刀を奉納したという伝説と初代里見義実も、文安2年(1445年)頼朝にならって村正作の太刀を奉納し武運長久を祈ったと云われている。(めがね橋たもとの道百選案内板から)



下立松原神社

里見氏ゆかりの地

房総(安房)里見氏の発祥の地。里見義実が結城合戦に破れた後、三浦半島を經由してこの地の白浜城を拠点に安房四郡を平定し、房総里見氏の歴史が開かれた。



里見義実木像

ウ) 文化財

杖珠院じょうじゆいん（城山の東にある）

初代里見義実から嫡流の5代里見義豊までの前期里見氏の菩提寺であり、江戸時代に建てられた義実の供養塔や初代義実から2代成義・3代義通・5代義豊の4代の木造の坐像と墓や古文書がある。

エ) 遊歩道

民話のみち



野島崎灯台へのみち

野島崎灯台は、明治2年（1869年）わが国初の近代的な灯台として観音崎灯台、品川灯台などとともに誕生した。太平洋戦火に遭い、昭和22年再建復旧（高さ24m・見学できる灯台）された。

灯台を中心とした野島崎公園は、遊歩道が整備され潮風が心地いい散策コース。



野島崎灯台



オ) 特産品

花卉栽培

農業粗収入の約7割を花卉栽培が占める = 12月～3月にかけての早春の露地栽培によるキンセンカ、ストック、キンギョソウなどの花の絨毯は、この地ならではの光景である。



露地花の花畑

水産業

黒潮香る磯根に囲まれ、アワビやサザエを採る素潜りの海女漁は、初夏から盛夏にかけての昔から変わらない風物詩。また、一年を通じてエビ網と呼ばれる「刺し網漁」が行われ伊勢エビ、サザエ、磯魚が水揚げされている。近年「獲る漁業」から「つくり育てる漁業」への転換が図られ、アワビの稚貝やヒラメの稚魚が放流されるなど海の資源も大切にされている。このほか春先、磯をびっしりと覆うヒジキの刈り取りも季節の風景となっている。



海女漁と黒アワビ



ヒジキ狩りのようす

カ) その他

白浜音頭

白浜に唄い継がれる「民謡」南房総白浜の花と海をイメージして昭和31年につくられた。



白浜音頭イメージ

2) 虚空蔵山



虚空蔵山の全景

概要

ア) 所在

県指定有形文化財、洋式の石積工法の「めがね橋」の東方の山、滝口地先に所在。

イ) 標高

約90m



虚空蔵山からの眺望

ウ) 歴史

山頂にコンクリートの虚空蔵堂が建つ。空海の山岳修行によって各地に広められた「虚空蔵信仰」によるもので、この山もその流れをくむ修験の山だったと考えられている。また、登山途中のヤダケ(矢竹)の群生は、戦国時代の城が付近に存在したことを思わせる。

エ) 自然

虚空蔵山で見られる主な植物

電波塔を建設するために造られたと考えられる登山道には海岸付近に分布する樹木であるオオバヤシャブシの木を見ることができる。他にコナラやモチノキもあるが殆どがマテバシイに覆われる山である。また、山頂付近からは、根本海岸の岩礁が望める。

オ) 交通

国道 410 号、長尾橋から「めがね橋」へ、橋のたもとに駐車場（5～6 台駐車可）がある。川の右岸、東側が登山口となる。

ハイキングコース

ア) 距離及び時間

めがね橋をわたり長尾川右岸遊歩道から続く道路を右にカーブしながら辿る。NHKと千葉テレビ（CTC）共同の電波塔が立つ山頂に着く。山頂までの往復時間およそ 30 分

イ) 文化財

めがね橋・滝口地先

石積み工法の洋式・三重橋で明治 21 年（1888 年）3 月に竣工、昭和 63 年に「房総の魅力 500 選」に選定された。

また、橋の下を流れる長尾川は三年連続県内で最もきれいな川に選ばれている。



めがね橋

ウ) 建造物

虚空蔵堂

山頂塔屋の脇にコンクリート造りの虚空蔵堂が建つ。堂の前には鳥居が立ち、神仏習合の面影を残している。



虚空蔵堂

付近の見どころ

1) 城山に近接する。 = 省略 =

4 . 見どころ

1) 自然

根本キャンプ場

屏風岩からすぐに三角州状に砂浜を形成している「根本海岸」では夏にはオートキャンプ場（400台以上収容）で自然を楽しむことができる。



根本キャンプ場

屏風岩

フラワーパークの前の海には、波しぶきが舞う太平洋の荒波を感じる「屏風岩」が見える。地殻変動によって褶曲した岩盤が長い年月をかけて波の力によって削られてできた奇岩である。



屏風岩

2) 歴史

文化財一覧表

ア) 県指定

種類	名称	所在地
天然記念物	白浜の鍾乳洞	白浜 14,039- 1
天然記念物	白浜の屏風岩	根本字石舟地先
有形文化財	めがね橋	滝口地先
天然記念物	白浜のシロウリガイの化石	白浜



白浜のシロウリガイ

イ) 市指定

種類	名称	所在地
有形文化財	武田石翁の七福神	白浜（巖島神社）



武田石翁の七福神

民族文化財
記念物
記念物
記念物

弘法大師の芋井戸
西春法師の入定塚
実浄入定塚
里見義実の墓

青木地区
滝口
白浜(原区)
白浜(杖珠院)



西春法師の入定塚



実浄入定塚



初代里見義実の墓

有形文化財
有形文化財

里見の木像
里見の文書

白浜（杖珠院）
白浜（杖珠院）



里見義実木像



里見義通木像



里見義豊木像



里見成義木像

有形文化財	寶頭盧尊者坐像	青木地区
有形文化財	木造十一面観音立像	乙浜（正栄寺）
有形文化財	木造菩薩形坐像	白浜（大門院）
有形文化財	銅造毘沙門天坐像	滝口（下立松原神社）
有形文化財	木造力士形立像	滝口（下立松原神社）
有形文化財	木造菩薩立像	根本（海福寺）



木造十一面観音立像



木造菩薩形坐像

3) 産業・特産品

この地は海岸線が入り組んだ絶好の漁場であり、サザエ、アワビやメジナ、イシダイ、アジなど魚介類とヒジキなどを代表とする海洋生物が広く知られている。

4) その他

白浜フラワーパーク

内房の館山側（東側）から房総半島の最南端の黒潮香る白浜地区に入るとすぐに「白浜フラワーパーク」がある。四つの温室にバナナやパパイア、ブーゲンビリアなどの果樹や熱帯植物が南国のムードを広げる。また、12月から4月にかけて露地咲く花々の「花摘み」ができる。

野島崎灯台

太平洋に突き出た野島崎には日本初の「洋式灯台」があり伊豆半島や三浦半島が望める展望が広がる。

白浜海洋美術館

灯台近くの松林に囲まれた「白浜海洋美術館」では、歴史ある捕鯨絵巻や鯨の解体図、船首飾りなど 100 点が常設展示されている。